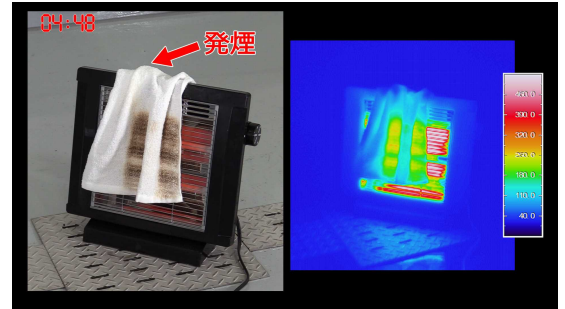


電気ストーブの事故

事故の概要

- 【事例①】就寝中に出火し、住宅を全焼して1人が死亡した。
- 【事例②】製品と周辺を焼損する火災が発生した。



事故の原因

- 【事例①】電気ストーブを寝具の近くで使用したまま就寝したため、寝具がヒーターに触れて着火し、出火したものです。
- 【事例②】電気ストーブをつけたままその場を離れていたところ、周囲の可燃物が発火し、事故に至ったものです。



タオルがストーブに触れてから約6分40秒後に発火しました(再現実験)



事故防止のために

- ◆ 周辺にもものを置かないでください。
- ◆ 洗濯物を上部や近くに干さないでください。
- ◆ 就寝中は、使用しないでください。
- ◆ 外出する際は、電源を切り電源プラグを抜いてください。

- 本体に変色があったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードの取付部や電源コード、電源プラグに傷やふくれがある。また、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードに触れたり折り曲げると、電源が入ったり切れたりする。電源プラグ、スイッチ等が熱い。

1つでも該当する場合、すぐに使用を中止し、メーカーや販売店に相談してください。

